



ふあみさぽだより



平成26年度第1回初級講習会 報告

6月17日(火)～20日(金)、6月24日(火)～26日(木)の7日間、初級講習会を開催しました。

今年度最初の開催でしたが、非常にたくさんの方にご参加いただきました。どの講習も、みなさん熱心に先生のお話に聞き入り、質疑応答も大変多い講習となりました。

初級講習会の内容

子どもの心の発達とその問題

子どもの発達を知り、かかわっていく中で気をつけることを学びました。講習の初日ですが、受講者どうしの自己紹介などを交え、コミュニケーションの大切さを実感しながら学ぶことができ、笑顔の絶えない講習でした。



松山赤十字病院 小児カウンセラー
平林 茂代さん

乳幼児の発達とかかわり

乳幼児期の発達とかかわり及び子どもの発育とかかわりについて学びました。前半は年齢別の発達段階に合わせた手遊びや、絵本の紹介、手作りおもちゃの紹介もありました。後半は食と栄養の重要性について、栄養士さんのお話を聞きました。



松山市保健福祉部
保育・幼稚園課職員のみなさん

病気のときの世話と食事

子どもの観察、主な症状と看護方法、薬の与え方などについて学びました。症状の根拠をわかりやすくお話しいただき、特に、食物アレルギーの話はなかなか詳しく説明を受ける機会がないものなので、受講生の関心の高い講習の一つでした。



石丸小児科副院長
中野 博子さん

子どもの病気と対処法

子どもがかかりやすい病気について学びました。個々の病気の症状や原因など、普段聞くことのできない貴重なお話を楽しい先生の話術と美しい映像を交えたスライドで学ぶことができました。



石丸小児科院長
中野 省三さん

障がいのある子どもへのかかわり方

障がいのある子どもへの理解と支援について学びました。障がいのあるないに関わらず、子どもに向き合う姿勢は同じです。ジェスチャーを交えたとても分かりやすい説明で、さまざまな子どもたちへの理解を深めました。



松山市障がい者南部地域相談支援センター
相談支援専門員
今村 高博さん

介護のこころ



松山東雲短期大学
杉本 詠二さん

生活支援の目的や基本を知り、高齢者や家族の心理について学びました。実際の介護現場での体験談を交え、具体的でわかりやく生活支援のイメージを思い描くことができました。

救命講習



松山市中央消防署
救命救急士・女性消防士の
みなさん

心肺蘇生法・AEDの使用方法を、市保健所・消防合同庁舎にて学びました。3時間と長時間の講習ですが、胸骨圧迫や人工呼吸、AEDの操作方法をグループに分かれて実践しました。

家庭の看護

家庭内で起こる事故や病気の応急手当を学びました。家庭で起こる事故への対応とストッキングやハンカチでの固定の仕方など実践を交えた講習でした。



日本赤十字社
中村 登美江さん



講習会を受けて、現在子育て中の自分にとっても勉強になることばかりでした。自分を見つめ直すいい機会になりました。
(40代 女性)

ボランティア精神のみでこのような素晴らしい講義を受講でき、とても良い機会であり、ためになりました。
(30代 女性)

アンケートより



毎回講師が実践で働かれている方なので、興味深い話が聞けて良かったです。
(50代 女性)



介護中心に活動したいと思っているので、高齢者の心理などをもっと学びたいと思いました。レベルアップ講習会にも参加したいと思います。
(60代 女性)

今回の講習で、新たに39名の提供会員さんが誕生しました。育児・介護とも援助へのご協力を期待しています。

次回の開催は11月5日(水)~7日(金)、11日(火)~14日(金)を予定しています。

詳しい日程などは、まつやまファミリー・サポート・センター窓口またはHPにて随時ご案内します。申し込みにつきましては、電話・FAX・HPにつきましては9月上旬より開始します。

今年度最後の初級講習会となりますので、たくさんの方のご参加をお待ちしています。